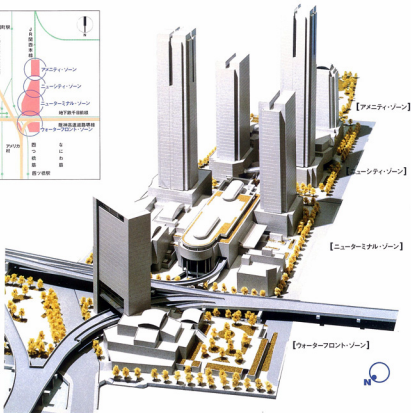


開発構想

湊町は4つのゾーンで構成される複合多機能都市。公共シティ・エア・ターミナルやJR難波駅、バスターミナルのある大阪シティエアターミナルビル(OCATビル)を核とするニューターミナルゾーンを中心に、業務・商業機能、情報・未来提案機能、宿泊・生活機能、そして文化・アミューズメント機能など広範な都市機能を4つのゾーンに効率よく配置します。



【ウォーターフロントゾーン】

かつて古代人の「濱」として活気に溢れていた難波津を道頓堀川の水辺を活かし、潤いとゆとりのゾーンとして現代に再現。心身のリフレッシュができ、人々のコミュニケーションが生まれる交流の場として整備されます。ウォーターフロントパークなどの水と緑の広場、阪神高速道路のランプと一体となる複合施設、駐車場などが建設されます。

【ニューターミナルゾーン】

国際ターミナルにふさわしい魅力ある施設・空間を整備。その第一弾としてオープンするのが「大阪シティエアターミナルビル(OCATビル)」。関西国際空港に直結するJR難波駅、阪神高速から直接乗り入れるバスターミナルが設けられ、「旅」に関するすべてのフィールドで幅広くサポートする旅の情報館となります。

【ニューシティゾーン】

ビジネス、生活、遊びが融合した24時間都市。インテリジェント・オフィスビルやホテル、文化施設などが集まり、新しいアーバン・ライフスタイルを提案する未来の生活ステージです。業務・商業活動など人々の生活に必要な機能や、幅広い芸術・文化の活動・活力を生み出す創造拠点としての多様な未来提案機能を有しています。

【アメニティゾーン】

都市の機能性に自然のエッセンスをプラスした都心の中のオアシス空間。人々の溢れが生まれるコミュニティ空間として、ゆったりくつろげるリラックス空間として、また自然の中でおもいっきり身体を動かしてストレスを発散できるアスレチック空間として、深い安らぎと潤いを市民に提供、明るく広々とした街の雰囲気演出します。